

## 93～94シーズン 鮫川・沼部地区越冬記録

蛭田裕之

今シーズンは福島県いわき市鮫川・沼部地区において、延べ30数日間に渡り越冬記録を取り、グラフ表示した資料を作ってみました。白鳥保護のための一助として、役に立てればと思います。今シーズンは、寒さが厳しかったせいも、例年2月中旬には姿を消す白鳥たちが、3月上旬まで越冬し、嬉しい誤算のシーズンとなりました。また、平成元年以来4年ぶりのマガン（成鳥1羽・幼鳥1羽）の飛来を記録し、オオハクチョウ（成鳥）の飛来も記録しました。しかし、11月～2月の安定期における成鳥と幼鳥の比率を計算してみますと、成鳥：79%・幼鳥：21%となり、幼鳥の比率が少ない様な気がします。他の地区ではどうなのでしょう……？

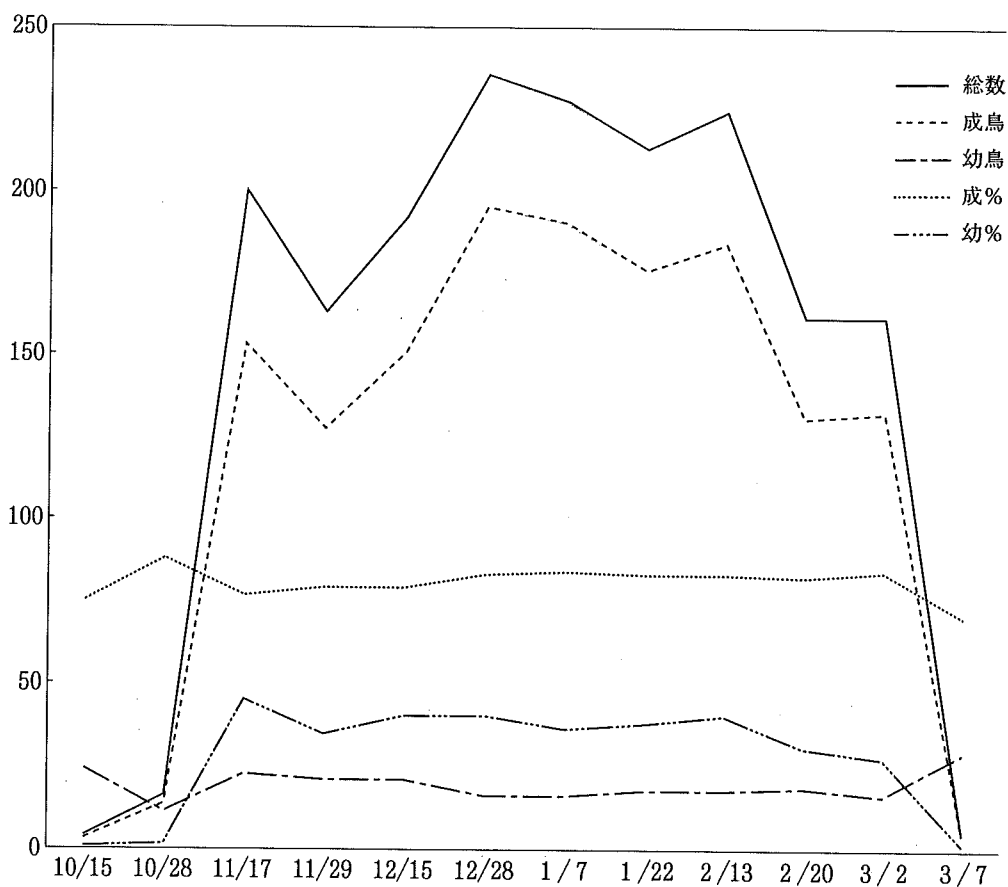
また、猪苗代湖崎川浜では、釣り糸を絡めた幼鳥を確認しております。白鳥ニュース15号にも記事が出ていましたが、白鳥に限らず、かなりの数の鳥たちが釣り糸による被害を被り、命を絶たれているニュースがテレビ等でも報道されているのが現実です。大変残念です。ほんの少しの注意と、気遣いでこうした被害は未然に防げるはずなのですが……。

6月1日現在沼部では、以前から残留鳥（私は「沼ちゃん」と呼んでいます）と、もう1羽の幼鳥の2羽がいます。この幼鳥は、4月23日の日中に飛来。給餌をされている蛭田氏によれば、午後3時の給餌に川へ下りてみると、いつの間にか1羽増えていたとの事です。餌は、一ヶ所で与えると沼ちゃんがちょっかいを出すので、少し離して二ヶ所にあげるそうです。普段は大変仲良く、常に一緒に行動をしている様です。

93～94シーズン鮫川・沼部地区越冬数

	10/15	10/28	11/17	11/29	12/15	12/28	1/7	1/22	2/13	2/20	3/2	3/7
総数	4	16	200	163	192	236	228	213	224	161	161	7
成鳥	3	14	154	128	151	195	191	175	183	130	133	5
幼鳥	1	2	46	35	41	41	37	38	41	31	28	2
成%	75	88	77	79	79	83	84	82	82	81	83	71
幼%	25	12	23	21	21	17	16	18	18	19	17	29

※初認 10月15日 3羽(成2/幼1、残留鳥1) 終認 3月7日 7羽(成4/幼2、残留鳥1)  
 最高羽数 12月29日 256羽(成205/幼51)



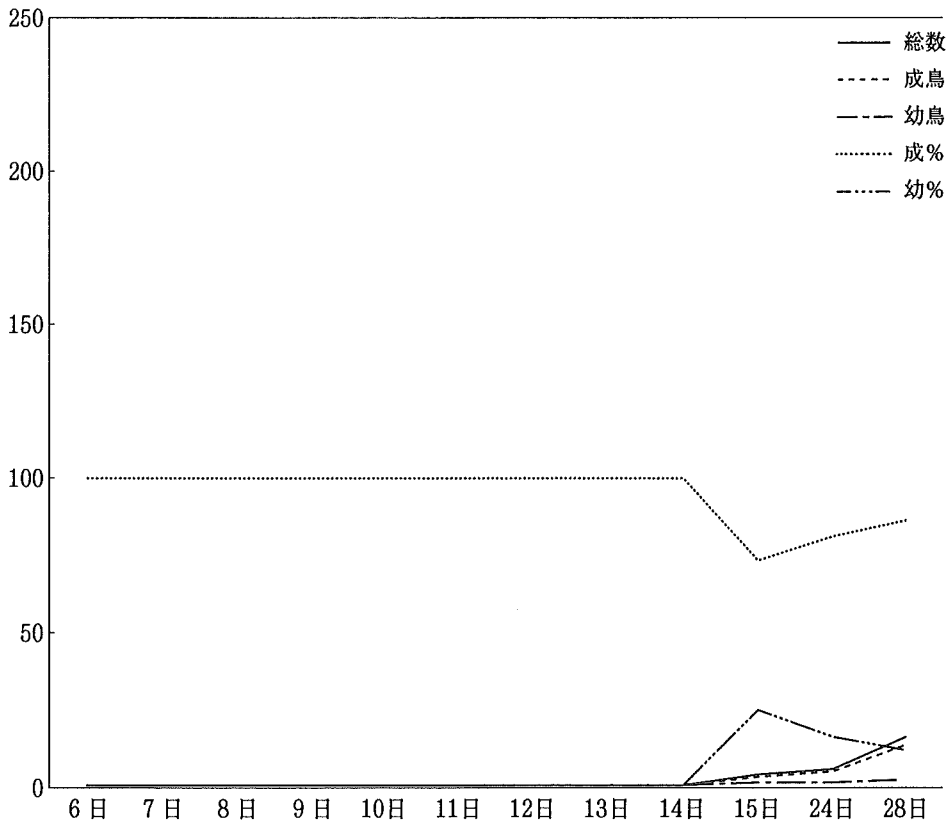
## 1993～94シーズン 鮫川・沼部地区特記

- |   |  |
|---|--|
| <p>10月15日 初認 成2・幼1。4羽</p> <p>10月28日 給餌するものの、殆どの白鳥が食べない。14羽</p> <p>11月1日 昨夕かなりの数が飛来。この日も、朝方23羽が飛来。63羽</p> <p>11月6日 朝方3～4回に分けて、高空より50羽程飛来。124羽</p> <p>11月17日 最近は、過日の大雨で田圃が池の様になり、白鳥は早朝から田圃で捕餌している。200羽</p> <p>12月7日 白鳥たちも大分慣れてきて、人の手からパンの耳を食べる様になってきた。154羽</p> <p>12月28日 早朝飛来した白鳥に混じり、マガン2羽(成1・幼1)飛来。236羽</p> <p>12月29日 今シーズン最高の羽数を記録。オオハクチョウ(成)1羽確認。256羽</p> <p>1月26日 最近は数の変化も余り無く、すっかり落ち着き飛翔することも稀になった。211羽</p> <p>2月13日 昨日からの雪で、吹き溜まりには30cm程の積雪。風も強く動きが少ない。風を避けて嘴を背中にいれて休む白鳥が目立った。224羽</p> <p>2月17日 昨夕、かなりの数が北帰行のコースで飛去したとの事。早くも北帰開始か? 朝方、10数羽が高空より飛来。184羽</p> | <p>2月19日 北帰行間近なのか、盛んに飛びだしては田圃へ出掛けて行き、しばらくすると帰って来る。解氷を待っているのか、北帰行トレーニングなのか動きが激しい。157羽</p> <p>2月23日 今日は大きく分けて3グループになり、今までのような家族単位の行動とは少し違う感じがした。羽根の付け根から少し血を流した成鳥を確認、行動に不審な点は無いので大したことは無さそう。160羽</p> <p>2月25日 左羽根の付け根が少し盛り上がった幼鳥を確認。数回飛翔するもの的高度が上がらず着水。165羽</p> <p>3月2日 最近の行動を観察していると、北帰行間近の感じが強いが、今日は風が強く北帰は明日以降か? 161羽</p> <p>3月4日 昨日130羽確認の白鳥が激減。殆どの白鳥が北帰。20羽</p> <p>3月5日 とうとう残り2羽になる。</p> <p>3月6日 どこからか5羽飛来。7羽</p> <p>3月7日 今シーズン終認の日。3年越し残留鳥を残して全て北帰行。7羽</p> <p>4月23日 幼鳥1羽が飛来。体が小さく、やせている感じなので、親とはぐれた迷鳥か? 残留鳥、計2羽になる。</p> <p>6月1日 現在も滞留。</p> |
|---|--|

93～94シーズン鮫川・沼部地区10月越冬数

	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	24日	28日
総数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	6	16
成鳥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	5	14
幼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
成%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	75	83	88
幼%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	17	12

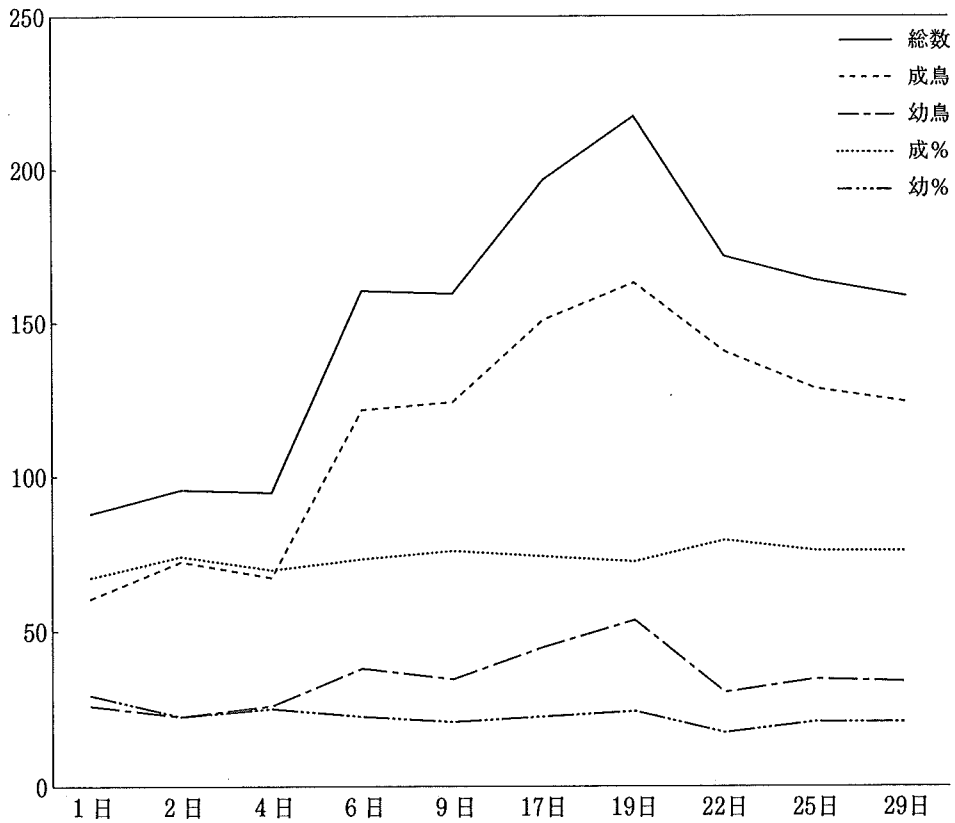
※14日までの1羽は、2年越し残留鳥（右翼損傷・低空飛翔可能）。  
初認は、15日、3羽（成2／幼1）



93～94シーズン鮫川・沼部地区11月越冬数

	1日	2日	4日	6日	9日	17日	19日	22日	25日	29日		
総数	90	98	97	164	163	200	222	176	168	163		
成鳥	63	75	70	124	127	154	166	145	145	128		
幼鳥	27	23	27	40	36	46	56	31	36	35		
成%	70	77	72	76	78	77	75	82	79	79		
幼%	30	23	28	24	22	23	25	18	21	21		

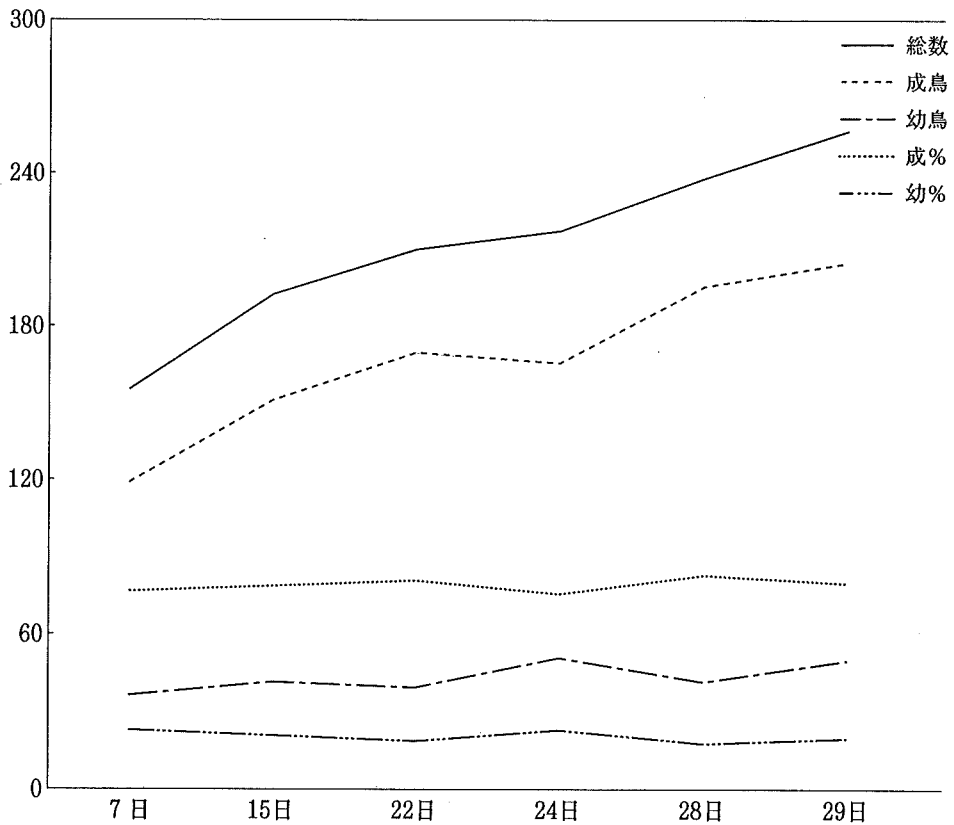
※17日においては、正確なカウントが無理なため、目視カウント。成鳥・幼鳥の数も11月平均から割り出した。



93～94シーズン鮫川・沼部地区12月越冬数

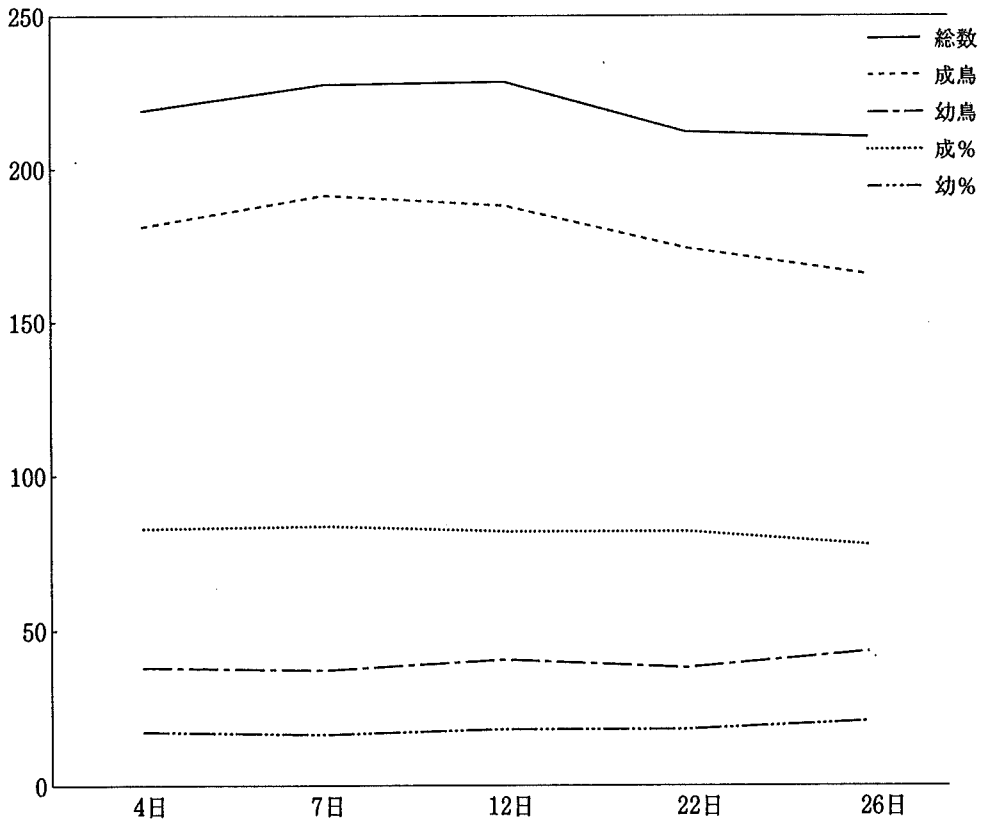
	7日	15日	22日	24日	28日	29日						
総数	155	192	209	216	236	256						
成鳥	119	151	169	165	195	205						
幼鳥	36	41	40	51	41	51						
成%	77	79	81	76	83	80						
幼%	23	21	19	24	17	20						

※28日・マガン2羽（成1・幼1）飛来確認 29日・オオハクチョウ（成）1羽確認



93～94シーズン鮫川・沼部地区1月越冬数

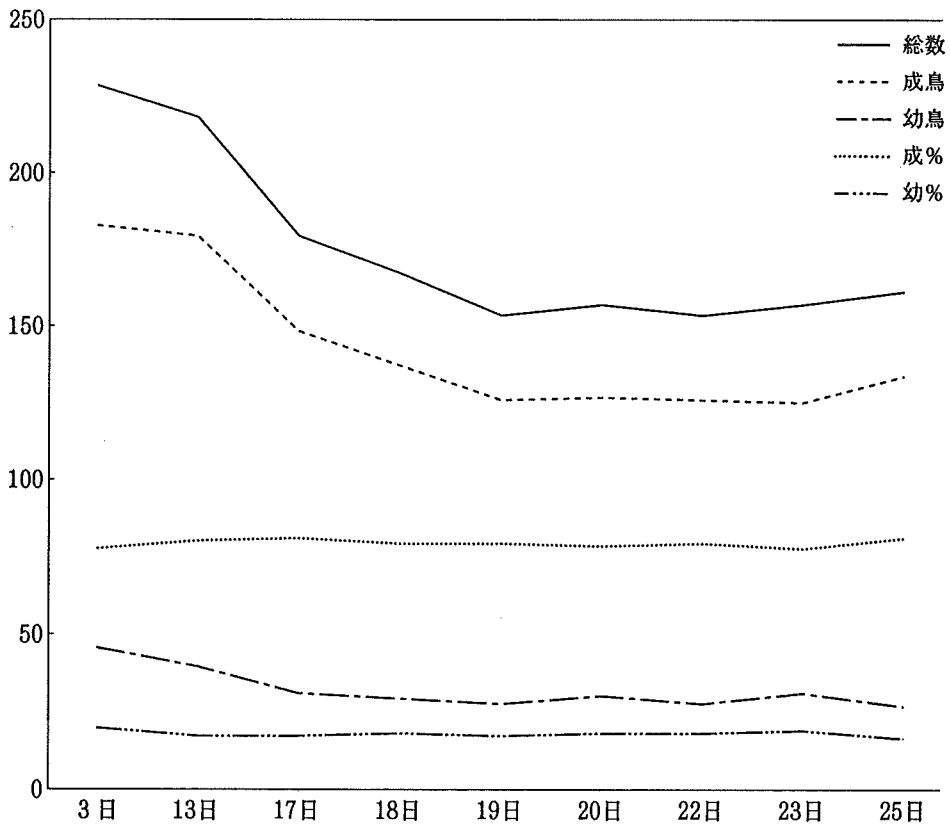
	4日	7日	12日	22日	26日							
総数	219	228	229	213	211							
成鳥	181	191	188	175	167							
幼鳥	38	37	41	38	44							
成%	83	84	82	82	79							
幼%	17	16	18	18	21							



93～94シーズン鮫川・沼部地区 2月越冬数

	3日	13日	17日	18日	19日	20日	22日	23日	25日			
総数	234	224	184	171	157	161	157	160	165			
成鳥	187	183	152	141	129	130	129	128	137			
幼鳥	47	41	32	30	28	31	28	32	28			
成%	80	82	83	82	82	81	82	80	83			
幼%	20	18	17	18	18	19	18	20	17			

※22日は総数のみカウントし、成鳥・幼鳥の割合は平均より割り出した。 23日・羽根の付け根より、わずかな出血のある成鳥を、一羽確認。行動に特別異常はなさそうなので、大したことはないと思われる。





93～94シーズン鮫川・沼部地区3月越冬数

	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日					
総数	165	130	20	2	7	7	1					
成鳥	133	104	16	2	5	5	1					
幼鳥	28	26	4	0	2	2	0					
成%	81	80	80	100	71	71	100					
幼%	19	20	20	0	29	29	0					

※終認は7日の7羽、8日の1羽は、3年目の残留鳥。3日以降は沼部・蛭田氏より資料提供。  
 4月23日 幼鳥1羽が飛来。迷鳥らしく、かなり痩せていて体が小さい。6月1日現在残留鳥と共に、生活している。この時期まで滞留では、今年の北帰はないと思われる。3日以降の比率は予想値。

